

科目区分	専門教育科目	科目名	保育相談支援		科目コード	50418	担当者	福井謙一郎	
対象学生	幼児教育学科2年生		学期区分	後期	単位数	1	卒業要件	選択	
							免許・資格要件	保育士資格必修	
科目の主題							成績評価の方法と割合		
保護者に対する相談支援の内容と方法を理解する。							定期試験(50%) 受講態度(50%)		
科目の到達目標							教育目標に基づく学修成果の到達目標		
							誠実な人柄と人間力(尽心)	高度な知性と創造力(創造)	明確な意志と実践力(実践)
1.	保育相談支援の意義と原則が分かる						○		
2.	保護者支援の基本を理解する					○			
3.	保育相談支援の内容・方法が分かる							○	
4.	幼稚園、保育園、児童福祉施設の保護者支援の実際について理解する							○	
5.									
授業方法									
スライド形式で講義を行う。また、自分なりの考えや対応を、グループでの議論や調べ活動を通して発表し、対応策をまとめさせる。									
準備学修(予習、復習等に必要な時間または具体的な学修内容)									
保育現場で具体的に展開される様々な相談事例を自分の問題として収集しておくこと									
授業計画									
第1回	オリエンテーション(授業内容及び進め方、受講にあたっての心構え)								
第2回	保育相談支援の意義① 保護者に対する保育相談支援の意義								
第3回	保育相談支援の意義② 保育の特性と保育士の専門性を生かした支援								
第4回	保育相談支援の基本① 子どもの最善の利益と福祉の重視								
第5回	保育相談支援の基本② 子どもの成長と喜びの共有								
第6回	保育相談支援の基本③ 保護者の養育力の向上に資する支援								
第7回	保育相談支援の基本④ 信頼関係を基本とした受容的関わり、自己決定、秘密保持の尊重								
第8回	保育相談支援の基本⑤ 地域紙g店の活用と関係機関との連携・協力								
第9回	相談支援の実際① 事例検討								
第10回	相談支援の実際② 事例検討								
第11回	相談支援の実際③ 事例検討								
第12回	相談支援の実際④ ロールプレイ								
第13回	相談支援の実際⑤ ロールプレイ								
第14回	相談支援の実際⑥ ロールプレイ								
第15回	相談支援の実際⑦ ロールプレイ								
教科書・参考書					受講生へのメッセージ				
特になし。 授業資料は教員が準備する。					保護者との信頼関係の形成には、その人の人柄・人徳など、様々な要因が影響を及ぼします。「この人になら自分の子どもを預けても大丈夫」保護者にそう思われる保育者になれるよう、この授業を通して、今一度自分自身の在り方を見つめましょう。				